

58年度総会特集



昭和五十八年度の総会は、設立十周年記念式典とあわせて、五月二十七日に宗務所並びに京都東急ホテルを会場に開催された。

本願寺派

龍谷顕真会会報

第 3 号 (昭和58年9月20日)
京都市下京区堀川通花屋町下ル
浄土真宗本願寺派(情報部)
龍谷顕真会事務局

設立十周年記念 —— 発足の意義考える

総会には二十一人(その内賛助会員六人)が出席。開会式のあと、総会にはいり三輪善海代表世話人が「十周年を機に、あらためて顕真会設立の意義を考えたい」と挨拶。久富武士会員が議長となり議事を進めた。

57年度事業報告、決算のほか三百九十二万円
の58年度予算案、事業計画案などを審議。
原案通り承認された。引続き、任期満了に伴う世話人の選出を行い、代表世話人に三輪善海氏を再選した。そのあと豊原大潤総長が「宗門の運動方針について」話をし、質疑応答。「宗教と政治」と題して矢野暢京都大学教授が記念講演を行なった。

◆記念講演を「宗務情報」に◆

記念講演は、矢野暢京大教授にお願いしたが「宗教と政治」と題する内容は、単に会員だけでなく僧侶一般が傾聴に値するものであり「宗務情報」(一〇七号)に掲載した。



東急で10周年記念祝賀会

前門様
ご臨席

十周年記念祝賀会は、午後二時半から京都東急ホテル（鞍馬の間）で前門様ご臨席のもと、豊原総長、藤岡、武野総務が出席。前門様が「皆さんは政治と宗教という両方のつなぎ役として意義ある存在である。僧侶として宗門に尽され、政治の分野でも活躍され調和した責務を果してほしい」と求べられた。

三輪代表世話人の挨拶、豊原総長の乾杯で会食・懇談にはいり、前門様との記念写真を個別に撮るなど意義深い時を過ごし、藤岡総務の万歳三唱で散会した。

◆事務局よりお知らせ◆

○去る六月二十四日付で、五十八年度総会要綱・報告書等とともに、会費納入のお願いと龍谷顕真会調査依頼状並びに調査用はがきを送付いたしております。未納の方、調査用はがきを未投函の方は早急にお願いたします。

○五十八、九年の世話人は次の各会員です。

〈北日本ブロック〉多田勝、楯大亮、朝日岳乗、西文雄（中・四国ブロック）三輪善海、大前勝乗、川越証真、藤谷光信（九州ブロック）久富武士、志賀諦了、尾前新了。（代表世話人は三輪善海氏）。